

## IR University

## 第11回 「資本市場とIR シンポジウム」のご案内

～ まだ間に合うCG報告書～投資家の評価を得るには～

## ご挨拶

毎年、重要なテーマに注力しながら、問題提起をしております当シンポジウムですが、今回は、本年6月に発表された改訂コーポレートガバナンス・コードに伴い、ガバナンス報告書をはじめとする各種報告書への対応や投資家への具体的なアピール手法をテーマに、専門家のお話をききながら弊社スタッフとともに皆様と具体的にディスカッションを展開していく場にしたいと考えております。

今回も昨年同様、シンポジウムは、オンラインミーティング形式で開催します。皆様も参加しやすい雰囲気を作りながらの展開を目指したいと思います。講師陣は、ICGN(国際コーポレートガバナンスネットワーク)の理事になられた三井住友トラスト・アセットマネジメントの川添 誠司様の特別講演をはじめ、三井住友信託銀行から、サステナビリティの第一人者金井 司様と、私どもでも報酬関係でいつもお知恵を拝借しております梶 嘉春様もご登壇いただきます。皆様と日々実務をご一緒しております弊社精鋭チームもご一緒に、皆様のお悩み事やご関心にお答えしていきます。最後は、例年同様、グループに分けたディスカッション、続く、大討論会で締めくくる予定です。

なお、本年も青山学院大学と弊社の共催となっております。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

ジェイ・ユーラス・アイアール(株) 代表取締役 岩田宜子

## 開催趣旨

以下のようなテーマのもと、議論を深めます。

- ・ CGコード改訂で新たに要請されたことの意義とそれに応えた記載内容とは
- ・ IRおよびSRや、各報告書において、アピールすること、すべきこと
- ・ Next Normalの時代において、さらに意識したいアピール内容(成長戦略、経営、取締役会評価、ESG)など

## 開催概要

日時：2021年11月8日(月) 13時30分 - 18時00分

形式：WEB(Webex)

参加費用：弊社と現在お取引のある企業様 無料  
弊社よりフラッシュニュースを配信している企業様 一人 1,000円(税別)  
その他企業様 一人 2,500円(税別)

## お申込み方法

お申込み：右のボタンをクリックして、お申し込みください。  
折り返し、詳細のご案内を致します。

**参加申し込みボタン**

締め切り：2021年11月4日(木)まで

問合せ先：ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社

担当：原山・牧・川島

E-mail：[ir\\_university@j-eurusir.com](mailto:ir_university@j-eurusir.com) TEL：03-6273-4032(代)

## スケジュール(予定)

時間	講演内容	登壇者
13:30～13:45	はじめに 「改訂に関しての整理と課題、企業の悩みどころの整理」	岩田 宜子 ジェイ・ユール・アイアール
13:45～14:15	「サステナビリティ経営と取締役会～CG コードの議論もふまえて」	高山 与志子 ジェイ・ユール・アイアール
14:15～14:45	「サステナビリティを巡る最新動向と日本企業が留意すべきこと」	金井 司氏 三井住友信託銀行
14:45～14:50	休憩	
14:50～15:35	特別講演 「ICGN 理事に就任するにあたって～ESG 投資と情報開示の視点」	川添 誠司氏 三井住友トラスト・アセットマネジメント
15:35～16:05	報酬に関して 「CG コード改訂を踏まえた近時の報酬体系と開示方法の傾向」	梶 嘉春氏 三井住友信託銀行
16:05～16:30	スキルマトリックスについて 「投資家の期待する記載とその背景」	鈴木 紀子 ジェイ・ユール・アイアール
16:30～16:55	取締役会評価について 「未来志向の取締役会評価と IR でのアピール」	宮地 真紀子 ジェイ・ユール・アイアール
16:55～17:20	エンゲージメントに関して 「展開方法とアピール、経営との関わり」	原山 真紀 ジェイ・ユール・アイアール
17:20～17:25	休憩	
17:25～18:00	グループディスカッションと大討論会 (*)	総合ファシリテーター:岩田 宜子

\*出席者(シンポジウム参加者)をグループ別に分け、今回のセッションでの感想や疑問を議論していただきます。お時間がお許しになれば、是非、この大討論会にご参加いただけるとありがたいです。

<ご参考> 過去4回のIR University 「IRと資本市場シンポジウム」のテーマ

第10回:新しいIROの役割とはー企業の成長にどう貢献するか

第9回:ESG イニシアティブ争いの中で日本企業が今なすべきことーガバナンス概念の拡張

第8回:ESG 今、何が起きているのか、IR担当者が出来ることは

第7回:建設的な「対話」の新たなスタンダードとは

**金井 司 三井住友信託銀行 サステナビリティ推進部 フェロー役員 チーフ・サステナビリティ・オフィサー**

1983年住友信託銀行に入社しロンドン支店、年金運用部等を経て、2003年より企画部。サステナビリティ部署の立ち上げを主導し2005年よりグループのサステナビリティ業務全般を統括する。2018年4月よりフェロー役員兼チーフ・サステナビリティ・オフィサー。この間、企業年金初のESG(SRI)ファンドの開発や、環境不動産業務の立ち上げ、ジェロントロジー業務の開発、世界初の資金使途のないポジティブ・インパクト・ファイナンスの開発、テクノロジー・ベースド・ファイナンスチームの組成等を手掛ける。2011年に21世紀金融行動原則の初代運営委員長、現在は運営委員兼「持続可能な地域支援ワーキンググループ」座長。環境省「地域におけるESG金融促進事業意見交換会」、金融庁「インパクト投資に関する勉強会」、内閣府「地方創生SDGs金融調査・研究会」委員等。著書は『CSR経営とSRI』『サステナブル不動産』『自然資本入門』等(いずれも共著)。

**川添 誠司****三井住友トラスト・アセットマネジメント スチュワードシップ推進部 シニア・スチュワードシップ・オフィサー 国際コーポレート・ガバナンス・ネットワーク(ICGN)理事**

グローバル株式ポートフォリオマネージャーとして、東京、ニューヨーク、ロンドン、ルクセンブルグを拠点とした豊富なグローバル経験を持つ。三井住友信託銀行において、ESG投資を立ち上げ、2018年10月のグループ再編で、現三井住友トラスト・アセットに移籍後、受託資産は7,500億米ドルを超えている。現在、公的資金、民間年金基金などのグローバルな機関投資家運用資産のスチュワードシップの観点での監督を担っている。さまざまなグローバルエンゲージメントプロジェクトに積極的に参画しており、CA100+の運営委員、PRI IPDD(森林破壊に関する投資家政策対話)の委員、30%クラブジャパン・インベスターグループのメンバーである。専門分野はビジネス倫理、株主の責任、株主の権利。元東京大学大学院の非常勤講師、現レディング大学ヘンリー・ビジネス・スクール客員研究員。

**梶 嘉春 三井住友信託銀行 ガバナンスコンサルティング部 指名・報酬グループ第1チーム長**

2000年中央三井信託銀行(現三井住友信託銀行)入社。2003年より証券代行事業に配属。事業内の法人営業・企画業務に従事し、2016年7月より現部署に異動。2018年7月より現職。

主な取扱分野は役員報酬体系構築支援、役職員に対する株式報酬導入支援、コーポレートガバナンスからみた指名(スキル・マトリックスを含む)・報酬分野支援。国内上場企業の役員報酬体系変革プロジェクトに多数(数十社)参画。報酬委員会への同席・助言や運営支援実績多数。主な著書・論文「株式報酬制度の再検討 費用負担の観点から」(旬刊商事法務共著 NO.2180号 2018年)、「企業内容等の開示に関する内閣府令を踏まえた役員報酬に係る開示分析日経225採用銘柄について」(旬刊商事法務共著 NO.2213号 2019年)「役員報酬議案等に係る実務上の留意点」(旬刊商事法務共著 NO.2255号 2021年)「スキル・マトリックスの現状分析と作成・活用のあり方」(旬刊商事法務共著 NO.2275号 2021年)。

**岩田 宜子 ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 代表取締役**

米系銀行勤務後1992年よりIR業界でのキャリアを開始、1994年米国IR会社日本代表、その後、日系初のグローバル・IRコンサルティング会社、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)を設立し、2001年代表取締役に就任。東証上場会社表彰選定委員や経産省対内直接投資研究会委員を経験。日本IR学会理事。2016年IRとガバナンスの分野で博士号(経済)を取得。

**高山 与志子 ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 マネージング・ディレクター 取締役  
ボードルーム・レビュー・ジャパン株式会社 代表取締役**

1987年、メリルリンチ証券投資銀行部門NYに入社。国内外での資金調達、M&Aなどのアドバイス。トムソン・ファイナンス・インベスター・リレーションズを経て、2001年、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)。2015年、ボードルーム・レビュー・ジャパン(株)代表取締役。現在「スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議」メンバー。